

# 赤蓮保存田、花はす田の再整備を

## 質問

赤蓮保存田は、平成3年、旧立田村ふるさと創生事業の一環として整備され、開発、改良を繰り返して、先人が作り上げてきた。芸術的な32種類の品種を区分し、栽培されている。

各品種が混り合っているが、状況と対策は。

## 教育部長

目視の形で調査し、5、6ヶ所隣の品種が混在している。対策として、区画の板さくの水の通り道の穴をふさぐ、今後掘り起こして調査し、

方法を考える。

## 質問

森川花はす田は、平成10年立田村活性化村おこしの一環として、交通量の多い、県道佐屋・多度沿線一帯を整備する構想があり、平成11年度に35a整備された。整備されて、10数年経過し、管理方法も変った。

圃場を大きく、見学通路を高く、ハス田、保存田を一ヶ所にする考えは。

## 教育部長

旧立田村時代に、現在の道

の駅を含めた一帯、ゾーンの中に計画されていた。計画を勉強する中で考えた。

## 質問

視点を变えて、観光という面で見ただけの場合、保存田、はす田を一ヶ所にする考えは。

## 教育部長

ゾーン計画をもう一度勉強し、蓮見の会、周辺の総合的な構想を勉強する中で、できるものであれば進めたい。1、2年かけいろいろな角度から検討したい。

## 質問

道の駅、森川はす田、東海広場、福原閘門の一帯を愛西市の観光の拠点にする考えは。

## 市長

船頭平閘門も含め、地域が一連の観光と理解している。公園整備も問われている、議会に相談しつつ、いろいろな面で考えていきたい。

# 蓮見の会

## 質問

はすの開花期間は、大変長い。また、ハス田には多くの経費もかかっている。期間を設けイベントなどを行って、その中で蓮見の会を行えないか。

## 教育部長

重要な愛西市の観光資源である。市の観光協会が設立に向けて検討されており、その中で考えていきたい。



堀田 清 議員



森川花ハス田